

## 平成 30 年度第 3 回産業衛生技術部会企画運営委員会 議事録

日時:平成 31 年 1 月 27 日(日)12 時～14 時

場所:東京八重洲ホール 514 号室

出席者(敬称略): 加藤隆康, 橋本晴男, 野原誠一郎, 山野優子, 近藤充輔, 齊藤宏之, 津田洋子,  
中原浩彦, 中村憲司, 中元健吾, 原 邦夫, 宮内博幸

### 議事録(案)

#### 1. 議事録の確認について

- ・ 平成 30 年度第一回企画運営委員会(8/26)ならびに第二回幹事会(9/15)の議事録の確認が行われ, 原案どおり了承された。

#### 2. 平成 30 年度部会活動報告について

- ・ 平成 30 年度部会活動報告についての確認が行われ, 原案どおり承認された。

#### 3. 代議員選挙結果について(資料添付)

- ・ 代議員選挙結果についての報告があった。
- ・ 今回, 関東地方会では技術部会として7～8名の支援を要請したことが報告された。
- ・ 県によっては技術部会の代議員がゼロになってしまっているところもある。
- ・ 地方会によっては, 県別に代議員の数を割り当てているところもあり(東海地方会), 結果として産業医または産業看護師ばかりになってしまうケースが指摘された。
- ・ 70歳定年制の影響もあるため, 技術部会としての代議員を若い世代に引き継いでいく必要がある。
- ・ 2年後の代議員選挙を見据え, 引き新規会員の確保を行う必要がある。

#### 4. 新年度部会体制について

- ・ 部会長は橋本晴男(東工大), 副部会長は野原誠一郎(中災防), 山野優子(昭和大), 監事は加藤隆康(元ヨタ自動車)とすることで確認された(現監事の中明賢二氏は退任)。
- ・ 幹事については, 各地方会に確認した上で決定することとした。
- ・ 事務局長は野原誠一郎(中災防), 事務局は中原浩彦(JXTG エネルギー), 中村憲司(安衛研), 齊藤宏之(安衛研), 宮内博幸(産医大)とすることで確認された。
- ・ 委員会(委員長)は, 企画運営委員会(野原誠一郎), 教育研修委員会(宮内博幸), 広報委員会(齊藤宏之), 表彰委員会(橋本晴男)とすることで確認された。
- ・ 企画運営委員会は, 近藤充輔氏が退任, それ以外の方については各委員の継続の意思を確認した上で決定することとした。

#### 5. 第 92 回日本産業衛生学会(名古屋)について

(2019 年 5 月 22 日(水)～2019 年 5 月 25 日(土):名古屋国際会議場)

- ・ 産業衛生技術部会幹事会については, 5/24(金)14:00～15:00, 名古屋国際会議場 1 号館 3 階会議室 131+132 にて開催されることが報告された。
- ・ 産業衛生技術専門研修会については, 今回は開催されない見込みであることが報告された(要確認)。
- ・ 産業衛生技術部会総会については, 5/25(土)午後名古屋国際会議場 2 号館 3 階会議室 232(第 8 会場)にて開催されることが報告された。
- ・ 産業衛生技術フォーラムについては, 温熱環境研究会と共同開催にて, 5/25(土)14:20～16:30 に名古屋国際会議場 2 号館 3 階会議室 232(第 8 会場)にて「気候変動とこれから求められる熱中症対策」と題して, 齊藤宏之(安衛研)・井奈波良一(岐阜大)の両氏を座長, 小野雅司(国立環境研), 森實修平(産医大), 時澤 健(安衛研), 中原浩彦(JXTG エネルギー)の各氏を演者として実施することが報告された(企画担当:齊藤宏之)。

## 6. 第 29 回日本産業衛生学会全国協議会(仙台)について

(2019 年 9 月 12 日(木)～9 月 14 日(土):仙台国際センター)

- ・ 公募企画(シンポジウム)として、「生物学的ハザードと作業環境」と題して、働く場における生物学的ハザードとリスク、および作業環境との関係について、前川純子(国立感染症研究所)、齊藤宏之(安衛研)、石松維世(産医大)を演者として行う予定であることが報告された。日時は 9/13(金)午後または 9/14(土)午前か午後の 2 時間程度を希望している(企画担当:宮内博幸)。講演内容として、環境微生物の法規制や、法規制から外れてしまっている部分の重要性について、わかりやすく冒頭で解説していただくことが望ましいとの意見があった。
- ・ 産業衛生技術シンポジウムとして、「作業環境測定が変わる！個人サンプラー測定の導入(仮題)」として開催する予定であることが報告された(企画担当:橋本晴男)。全国協議会の参加者(産業医+産業看護師が主体)を念頭に置いて、演者ならびに企画内容を検討する必要があるという指摘があった。これを受け、行政担当官 1 名、橋本晴男氏、ならびに個人サンプラーメーカー 2～3 社とする案が出た。
- ・ 産業衛生技術専門研修会として、「東北地方における産業衛生技術・衛生管理の実践事例(仮題)」として開催予定であることが報告された(企画担当:河合直樹)。現在演者を人選中で、企画運営委員会として案があったら提示してほしいとのことであった。東日本大震災における災害対応について、どなたかに報告してもらえたら良いのではないかと、東北大学で震災対応をされた方はどうか、という意見が出た。
- ・ 産業衛生技術部会幹事会として、9 月 13 日または 14 日の 12 時-13 時に開催予定であることが報告された。

## 7. 産業衛生技術部会奨励賞の候補者について

- ・ 平成 31 年度の奨励賞については、齊藤宏之(安衛研)を候補者として推薦することとした。
- ・ 今回については間に合わないが、奨励賞候補者を決めるにあたって、技術部会員としての活動実績(過去の学会発表や論文発表などを含む)や、過去の受賞者リストを表彰委員より参考資料として提示すべきとの意見があった。

## 8. その他

- ・ 次の学会または協議会を見越して企画のネタを考えておく必要があることが指摘された。たとえば、騒音障害防止研究会や振動障害研究会等とのコラボなど、相手先と調整しておくことが提案された。
- ・ 広報について、Web ページやメールマガジン、メーリングリスト等の活用を進める必要があるとの意見があった。特に Web ページは不足している情報(以前の議事録、企画の開催記録等)があるので、すみやかに拡充する必要があるとの指摘があった。

以上。